

QRコードを読み取っていただくとホームページを見ることができます。小値賀小学校の情報を様々に発信中です!



小値賀っ子だより

小値賀町立小値賀小学校 QR



スマートフォンからはこちら



学校スローガン『挑む!』 令和5年10月2日発行 第7号 校長 小川 広孝

1年の振り返し

朝晩に吹く風にも心地よさを感じる季節となりました。保護者の皆様・地域の皆様におかれましては、日頃から、小値賀小学校・大島分校の教育活動に御理解、御協力をいただき、本当にありがとうございます。早いもので、今年度の振り返しを迎えました。いよいよ10月。実りの秋、勉学の秋、食欲の秋などと言われる時期、過ごしやすい時期がやってきました。

さて、2学期が始まって1ヶ月。まだまだ暑さが残りますが、子供たちは毎日を自分たちらしく伸び伸びと過ごしてくれています。その姿を見るたびに、胸が熱くなる毎日です。

9月も様々な学習や活動がありました。学校ホームページでも随時、お伝えしておりますが、ここではそのいくつかをご紹介します。



①



②



③



④

①と②の写真は、2年生の体育科の研究授業の様子です。ボンバーゲームというネット型ゲームに取り組みました。どうすれば上手くいくのか等を友達と話し合いながら協力して活動を進める姿が見られたよい授業でした。

③の写真は、1年生の算数科の研究授業の様子です。『3つのかずのけいさん』という単元の学習でした。子供たち一人一人が、既習事項を生かしながら、主体的に学ぶ姿が光った、これまたよい授業でした。

④の写真は、5年生の宿泊学習最終日に笛吹港まで5年生をお迎えに行った6年生の写真です。自分たちが5年生の時の経験をもとに、後輩にしてあげたいという自発的な気持ちを行動に移してくれました。自律に向かう姿を嬉しく思ったところです。



⑤



⑥



⑦



⑧

⑤～⑧の写真は、5年生の野外宿泊学習の様子です。みんなで協力して、素敵な2日間を創っててくれました。

このように、小値賀小学校・大島分校では、主体的な学び・協働的な学びの姿が随所に見られています。

また、その学ぶ姿の中には、学校教育目標にある『自律に向かう 挑み続ける 小値賀っ子』の姿が見られています。

話が少しずれるかも知れませんが、3年前、コロナ禍の中で、多くの子供たちは、一斉休校中、何をすればいいのかが分からず、右往左往していました。その様子を見た保護者は戸惑いを隠せなかったと私は感じています。それは、「言われたことをやり続ける」教育によって、子供たちの主体性が奪われてきた結果だとも思っています。

その反省を受け、小値賀小学校・大島分校では、コロナ禍から見えてきた課題の1つである「自律できていない」という点に着目しながら、しっかりと『自律に向かう子供』を育成していきたいと考えております。そのプロセスの中で、子供に自信をつける教育を推進していきます。保護者の皆様・地域の皆様、今月もどうぞよろしくお願いいたします。

これからの学校の在り方を考えると…

どのような会議においても、最上位の目的が何であるのかを共通理解できていなければ、論点にズレが生じます。いくら時間をかけて議論を重ねても、解決の糸口が見つからないのです。

このようなことが起こらないよう、最上位の目的を常に確認しながら、これからも学校経営を進めて参ります。

そこで、1つ。皆様方にもご紹介しておきます。私は、以下のように考えています。

学校の目的（子供が育つ学校をどう創っていくかという視点で）

- 1 社会でよりよく生きていくための資質を多様な経験を通して身に付けていくこと。
- 2 子供たちを持続可能な社会の担い手としていくこと。

学校を1本の木に例えるならば、多くの学校は「自校がどんな木になろうとしているのか」ばかりを考えているのではないのでしょうか。

しかしながら、その木は、実は、森の中にたくさん生えているうちの1本にしか過ぎません。大切なのは、森という「未来」を見据え、その中の1本の木として自分たちの在り方を考えていくことです。

中央教育審議会の答申においては、子供たちが社会的に自律し、当事者意識をもって多様な意見や価値観の中で合意形成に粘り強く取り組む力を持つためには、従来の社会構造の中で行われてきた「正解主義」や「同調圧力」から脱却しなければならないということが大きな前提となっているのです。

今の子供たちは、同調圧力にさらされ、大変な思いをしていると言われています。自律こそ、学校教育の重要な目的ですが、場の空気、ノリ、序列などにとらわれ、自分の頭で考え抜き、対話を重ねることを見失っている私を含めた大人は、改めてこの教育の原点に立ち戻るべきだと考えております。今年度の折り返しにあたり、私（小川）の考えを書かせていただきました。